

特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成19年7~9月)のポイント

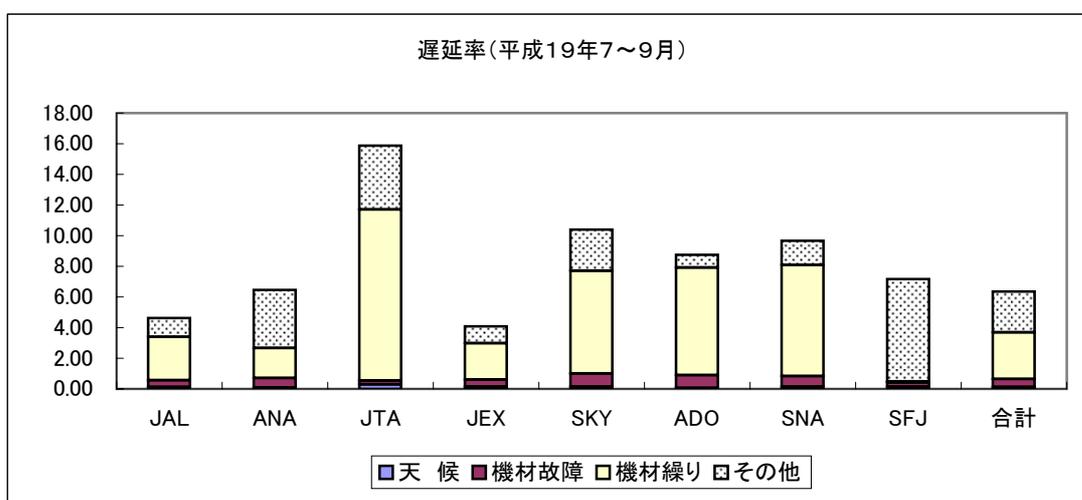
※日本航空(日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空、ジャルエクスプレス、スカイマーク、北海道国際航空、スカイネットアジア航空及びスターフライヤー

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率(平成19年7月~9月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
6.36%	7.28%	0.92ポイント減少

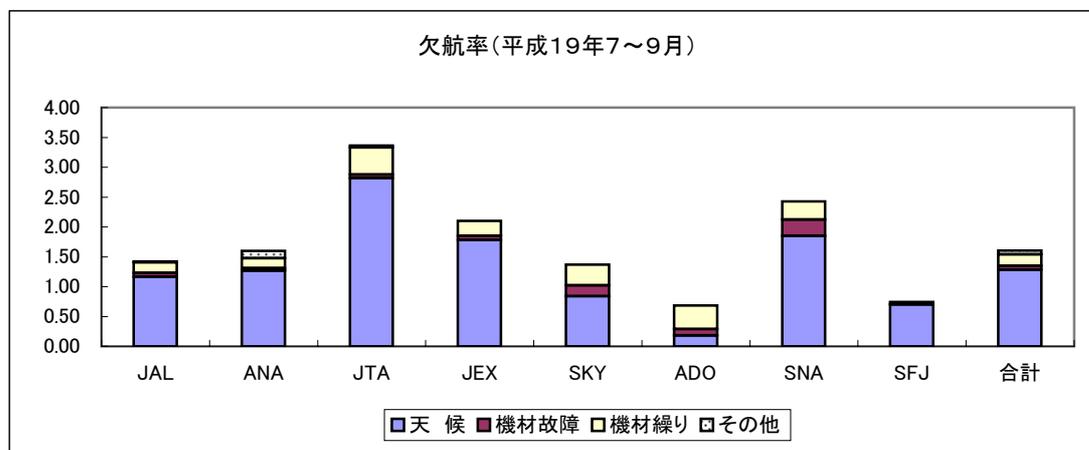
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成19年7月~9月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
1.61%	1.12%	0.49ポイント増加



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績(平成19年7月～9月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	913Km	906km	0.8%増
輸送人員	2502万9439人	2529万9789人	1.1%減
輸送人キロ	228億4381万人キロ	229億2576万人キロ	0.4%減
旅客収入	4261億27百万円	4137億67百万円	3.0%増
輸送人員あたり 旅客収入	17.0千円	16.4千円	3.7%増
輸送人キロあたり 旅客収入	18.7円	18.0円	3.9%増

(2) 路線別データ(平成19年7月～9月)

① 旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位 東京＝札幌	281万2782人
2位 東京＝福岡	201万2253人
4位 東京＝那覇	152万3200人
4位 東京＝大阪	140万4593人
5位 東京＝広島	59万9225人
全路線	2498万1490人

② 利用率

上位5路線は次のとおり。

下位5路線は次のとおり。

1位 関西＝石垣	90.0%	1位 札幌＝稚内	27.5%
2位 広島＝那覇	87.0%	2位 大島＝八丈島	29.7%
3位 中部＝旭川	85.6%	3位 札幌＝中標津	31.9%
4位 中部＝函館	85.3%	4位 中部＝福島	32.4%
5位 神戸＝石垣	84.6%	5位 関西＝高知	35.2%
全路線	66.6%	全路線	66.6%

3. フレックストラベラー制度(※)に関する情報

平成19年7～9月フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合(1万人あたり)が高かった上位3社は次のとおり。

(※)オーバーセールス(搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること)の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	全日本空輸	0.27人	0.34人
②	日本トランスオーシャン航空	0.11人	0.00人
③	—	—	—
	全社平均	0.14人	0.12人